

病気を治すために必要なのだから、医療費は節約できないと思いがちですが、ちょっとのところがけて医療費は少なくすることができます。医療費の節約は家計にとっても、健保組合にとっても大きなメリット。今回は、今話題になっているジェネリック医薬品をとりあげます。

家計に  
やさしい  
医療費  
節約術



医療費節約に  
ご協力ください

高齢化社会が進展する中で、医療費も増加しています。医療費の増加はわたしたち健保組合の財政にも大きな影響を与えます。ムダな医療費を減らすことは、健保財政の安定化につながります。ぜひ、医療費の節約にご協力ください。

# ジェネリック 医薬品を使ってみよう

あなたが  
のんでいる薬  
を調べてみましょう

- 厚生労働省医政局経済課 TEL03-5253-1111(内線2528) ジェネリック医薬品についてのご質問にお答えします。
- 下記のホームページでは、あなたがのんでいる薬にジェネリック医薬品があるか、また薬価なども調べることができます。

かんじゃさんのくすり箱  検索 <http://www.generic.gr.jp/>

まず、医師に自分の使っている薬がジェネリック医薬品に変更できるか、聞いてみましょう。昨年の4月から、ジェネリック医薬品の普及促進をはかるため、

どうすれば使える？

※薬代みの金額です。患者が薬局の窓口で支払う金額は、薬代のほかに技術料などが含まれます。

	新薬	ジェネリック 医薬品	差額
高血圧 の代表的な薬	9,860円	2,190円	7,670円
糖尿病 の代表的な薬	15,330円	9,860円	5,470円
脂質異常症(高脂血症) の代表的な薬	13,140円	6,570円	6,570円

(自己負担割合3割の場合)

1年間でこれだけお得!

糖尿病、高血圧、脂質異常症(高脂血症)など生活習慣病や慢性疾患などで長期、薬を服用している人などにおすすめ。ずっと薬をのみ続けなければいけない人にとって、薬の年間コストははかになりません。また、高価な薬を使っている人にもおすすめです。

こんな人におすすめです

開発や研究コストが抑えられるため、新薬と比べて安価なのが特徴。すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありませんが、あなたが今、のんでいる薬も、もっと安くできるかもしれません。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許期間が満了したあとに、同じ有効成分、同等の効きめ、安全を確認して別メーカーが製造・発売するものです。

開発や研究コストが抑えられるため、新薬と比べて安価なのが特徴。すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありませんが、あなたが今、のんでいる薬も、もっと安くできるかもしれません。

薬代がもっと安くなるかも!?

## ジェネリック医薬品を使うときの注意

すべての薬にジェネリックがあるわけではなく、また、個人の体質等によっては、使えない場合があります。医師や薬剤師とよく相談することが大切です。また、実際に使ってみて、体調に変化があったり、効きめが強すぎたり弱すぎたりした場合は、すぐに医師に相談しましょう。

### ジェネリック医薬品が使えないケース

- 先発医薬品の特許が切れていないもの
- 医療機関や保険薬局に在庫がないとき、扱っていないとき
- 先発医薬品の特許は切れていても追加効能に対する特許が切れていないとき

## 新しい処方せん様式

処方せん  
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です)

公費負担者番号	保険者番号
公費負担医療の受給者番号	被保険者証・被保険者手帳の記号・番号

備考

H20年4月1日より変更になりました

後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更が全て不可の場合、以下に署名又は記名・押印

保険医署名

調剤済年月日	平成 年 月 日	公費負担者番号
保険薬局の所在地及び名称	①	公費負担医療の受給者番号

以前

後発医薬品への変更可の場合のみ、医師が署名

現在

後発医薬品への変更不可の場合のみ、医師が署名

医師が薬を出すときの処方せんの書き方が変更され、原則、「後発医薬品への変更可」となり、「不可」の場合だけ医師が署名するしくみになりました。

また、90日処方といった長期の薬が出る場合、からだに合わなかったことの場合を考えて、お試し期間として分割調剤も可能になりました。現在は、ジェネリック医薬品を扱っている調剤薬局も増えています。一度、薬剤師に相談してみましょう。